



今年は観測史上最速の梅雨明けとなりました。梅雨を楽しく過ごすために購入したレインブーツは、一度も使いませんでした…。各地で猛暑となっています！熱中症には十分ご注意ください！！



医の世界への導入ー医学入門ー

医学部へ入学したばかりの新入生は、医の世界への導入として行われる科目「医学入門」を履修します。本年も4月12日(火)より「医学入門」を実施し、107名の1年生が受講しています。少々緊張気味の1年生でしたが、後述する様々なカリキュラムを経て、医学部の雰囲気慣れつつある様子です。同時に、医学部に入学した実感をかみしめ、改めて医師になるモチベーションを高めることができるのではないかと考えています。

・解剖実習見学

神経解剖学講座のご協力により4月26日(火)に実施しました。まず始めに篠田教授より解剖実習について説明を受け、その後白衣を着用し、解剖実習室へと向かいました。解剖実習見学に先立ち、ご献体に黙祷を捧げ、いよいよ見学です。張り詰めていた気持ちも見学中は少し緩み、剖出された組織について2年生に積極的に質問をする姿も見られました。

・ドクターヘリ見学

4月26日(火)に実施しました。悪天候の中傘をさしての見学となりましたが、救命救急センターの金田先生から詳細な説明を受け、ドクターヘリや管理室の様子に興奮気味の1年生でした。テレビドラマなどで見るような救命救急の現場に触れ、大変実り多い実習となりました。

・医学部附属病院見学

6月14日(火)の医学入門では24の診療科・部門にご協力頂き、附属病院内の見学を行いました。学生らは4~5名のグループに分かれ、各診療科の先生に先導され院内を見学しました。現在改築中の建物に圧倒された学生もいましたが、何より、多くのスタッフが協働して患者さんの診療に当たる姿に感動を覚えたようでした。診療科ならではの検査や治療について学ぶ機会もあり、見聞きたことを忘れないようメモしている学生もいました。4年後の臨床実習で病院デビューする日が待ち遠しいです。



その他、心肺蘇生講義や自殺防止セミナー、手話体験実習など、医学生として心得ておかなければならない技術や知識についても、各分野のスペシャリストをお招きし、詳細に教えて頂く機会を設けています。また、高齢者医療や、多様な患者層に対する理解を深める講義も今後行う予定です。解剖実習見学や病院見学等については、レポートを作成し、それを基に基盤系各講座でグループ討論を行う時間もあります。体験を皆で共有しディスカッションすることにより、より深い理解につながると期待しています。

ご担当頂きました各講座の先生方、誠に有難うございました。

FD企画 新任教員オリエンテーション

6月21日(火)に新任教員オリエンテーションを医修館1F 第1講義室にて開催しました。白澤医学教育センター長を始め、センター教員より、本医学科の医学教育について紹介しました。以下に概要を掲載いたしますが、詳細は「eYUME」→「動画配信」ページにて配信予定ですので、是非そちらも併せてご覧ください。

1. 山口大学の医学教育について

本医学科の医師国家試験合格率は平成27年度の第110回以降、全国平均を上回る結果を維持し続けていますが、**合格率向上のためのさらなる取り組み**を絶えず行っています。在学中の試験結果の解析から国家試験対策を講じ、**担任制やその他学生に対するフォロー体制により、国家試験現役合格を目指した学生支援**を行っています。これらは教員が一丸となって行う必要があります。また、2019年に受審した**医学教育分野別評価(国際認証)**において、**本医学科は適合認定を受けることができました**。しかし、医学部における医学教育は絶えず変革を求められており、今後も弛まぬ努力が必要です。

2. CBT, OSCEについて

令和5年度から共用試験CBT・OSCEは**公的化**されることが決定しています。つまり、国家試験のように法律に基づいた厳格な施行が求められます。**制度改変に伴い、私たち教員への負担増も避けて通れません**。

3. eYUMEの操作説明

本医学科の特徴である電子シラバス「eYUME」における、シラバス編集の具体的な手順を説明しました。eYUMEには、**授業内容や資料を学生へ伝達する事以外にも、多くの機能があります**。**学生のプロフィールを載せた”ポートフォリオ”**は、担任制における学生の把握に活用できますし、前述の通り、本説明会をはじめとしたFD研修会の動画も**オンデマンドで視聴できるようになっています**。

医学科・保健学科 合同授業「医療環境論」

「医療環境論」は、**医学科と保健学科が合同で行う唯一の授業**で、医療現場における諸問題に関心を持つと共に、**多職種連携**への理解を深めることを目的としています。4月～5月中旬にかけて全8コマ構成で、前半は講義、後半は医学科3年生と保健学科2年生の混合グループによる、医療現場の最近のトピックに関する自主学習です。さらに最終日のグループ発表で、互いに知識を共有します。

前半の講義では、医学部附属病院の感染制御部および医療の質・安全管理部にご協力頂き、**医療安全におけるコミュニケーションの大事さや、コロナ診療の実際**についてお話いただきました。コロナ診療に関しては、現場の医師から生の声を聞くこともでき、学生にとって大変刺激的な講義であったと思います。後半のグループセッションでは、今年度は**災害医療や終末期医療、地域医療、介護**といったトピックを扱いました。まだ臨床実習も始まっていない学生らにとって、少々難解なテーマであったかもしれませんが、「医療環境論」を通して、医療現場が抱える問題について目を向ける機会になればと思っています。また、医学科・保健学科の学生には、**将来共に働く仲間として、互いを尊重し合う姿勢**を忘れないでほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp